

静岡

家庭医養成プログラム 2011



世界標準の 家庭医療専門医を 養成します

静岡家庭医養成プログラムは、グループで家庭医療を行うことができる世界標準の家庭医養成コースです。この世界標準の研修プログラムを通して、家族ぐるみのかかりつけ医となり、地域医療を再生し、超高齢社会で効果的に活動できる家庭医療専門医を育てたいと願っています。

静岡家庭医養成プロジェクト





① 自治体がサポート

- 静岡県の2市1町（磐田市、菊川市、森町）が運営する家庭医養成プログラムです。

② 充実した指導体制

- 全科的に幅広く、かつレベルの高い診療ができる家庭医療専門医を養成するための指導体制が整っています。
統括指導医：津田 司（三重大学名誉教授、財家庭医療学研究所理事長）
指導医：佐野 潔（元ミシガン大学家庭医療学臨床助教授、前バリアメリカ病院家庭医）
指導医：藤岡 洋介（元ミシガン大学家庭医療学臨床講師）
指導医：鳴本 敬一郎（ピッツバーグ大学家庭医療学フェロー） 予定

③ ミシガン大学家庭医療学教室が支援

- 家庭医療の先進国である米国で、家庭医療学科ランキング3位（2009年）のミシガン大学家庭医療学教室が、マイク・フェタース先生を中心として支援します。
- 専門研修医は、ミシガン大学家庭医療学科での家庭医療研修と家庭医生涯教育コースに参加することができます。

④ 世界標準の家庭医療専門医を育成

- 家庭ぐるみのかかりつけ医になることができるように、単に内科・訪問診療などを中心とした医療ではなく、内科・心療内科・小児科・産婦人科・外科・整形外科・皮膚科・救急科などの診療能力が米国並に幅広く、レベルが高い家庭医療専門医を育成します。

⑤ 地域で活躍できる家庭医療専門医を育成

- ソロでの診療ではなく、グループで診療ができる家庭医療専門医、
- 高齢者の Aging Well（生きがいを持ちながら健やかに老いる）、Aging in place（住み慣れた地域で自分らしく老いる）を支援できる家庭医療専門医、
- かかりつけの患者さんをオープンベッドで入院治療し、救急外来で1.5次までの救急医療を担って地域医療再生に貢献できる家庭医療専門医、 を育成します。

⑥ 充実した研修環境

◆家庭医療クリニックでの研修

- 菊川家庭医療クリニックと森町家庭医療クリニックとでトレーニングします。
- 各クリニックにはビデオシステムを完備し、医療面接、身体診察など外来診療の指導をします。
- 診察室には、産婦人科診察と内科系診察とが両方できる診察台を完備しています。
- プリセプター室（指導室）を診察室の隣に装備しています。

◆病院での研修

- 2つの地域基幹病院（菊川市立総合病院、公立森町病院）と1つの高度急性期病院（磐田市立総合病院）で内科・小児科・産婦人科・外科・整形外科・皮膚科・精神科・救急科などのローテーション研修を行います。
- 磐田市立総合病院は、救急外来患者数約21,000人/年、救急車搬送数3,500人/年、分娩数1,300例/年を誇る病院なので、十分な研修を積むことができます。

⑦ 家族に優しいプログラム

- 女性医師が家庭医療専門医を目指すことができるように、研修カリキュラムに配慮し、保育所を斡旋します。

⑧ 初期研修と専門研修との一貫コースも可能

- 初期研修を磐田市立総合病院で行い、その後家庭医療専門医コースで専門医としてのトレーニングを受けることもできます。

家庭医療専門医養成プログラム

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
専門研修 1年目	ローテーション	家庭医療			内科			外科	小児科 NICU	産科		婦人科
		超音波検査, (ER)			Half day back, E R 研修				Half day back 小児 ER	Half day back ER	産婦人科	
専門研修 2年目	内科 1	内科 2	内科 3	整形外科		産科	家庭医療			小児科		
	内視鏡, Half day back, ER 研修			Half day back, ER, 産科 ER			内視鏡, (ER)			Half day back, E R, 小児 ER		
専門研修 3年目	家庭医療											
	精神科 (2/週)・ 放射線科 (1/週)			皮膚科・泌尿器科 (2/週)			眼科・耳鼻科 (2/週)			選択		

フェロースhip 1年目	家庭医療センター研修 (老人医療、ウィメンズヘルス、FD)											
フェロースhip 2年目	家庭医療センター研修 (老人医療、ウィメンズヘルス、FD)											

オリエンテーション

3年間で研修する内容を概説し、そのために必要な主たる知識や技能について講義やWS形式による学習を行う。例えば、手技では ACLS や ALSO (Advanced Life Support in Obstetrics: 産科救急蘇生法) などを研修する。

専門研修における大原則

家庭医療センター以外の施設でローテーション研修するときは、必ず週一回の Half day back で家庭医療センターに戻って研修を行う。継続診療を経験し、家庭医としてのアイデンティティを確立するためである。また、ER 研修は3年間継続して行う。

家庭医療研修

家庭医療センターで、外来診療、訪問診療、予防医療、ER、open-bed を利用した主として内科患者の入院診療などを研修する。2年目には思春期の医療、心身医学的疾患 (somatization) の診療なども研修する。また、1年目は超音波検査手技、2年目は上部内視鏡検査手技を研修する。

内科研修

1年目は総合内科として研修し、2年目は自分の弱い科の研修を1-3科の専門内科をローテーションして研修する。専門内科研修は磐田市立総合病院が適している。2年目は上部内視鏡検査手技の研修も行うことができる。

外科研修

外科疾患の病態生理を学習し、術前術後管理、外来診療を研修するのが主たる目的である。

小児科研修

一般小児、小児救急、NICU の研修を行う。産科研修の前に2週間の NICU を経験することが望ましい。小児科ローテーション中は、一般の ER と小児 ER の両方を経験できる。

産科・婦人科研修

産科研修では最低40症例の分娩を経験し、そのうちの10例は妊婦健診から分娩まで経験することが必要である。(磐田市立総合病院は年間1,300例の分娩を扱っているため40症例の経験は可能である) 産婦人科の研修中は産婦人科 ER を経験する。

整形外科研修

整形外科外来診療の研修をするのが主である。頻度の高い整形外科手術も経験する。

三年目の家庭医療研修

1年間を通して家庭医療センターで研修し、継続診療の経験を重ねる。家庭医としての仕上げの年であり、妊婦健診、分娩乳幼児健診、小児診療、思春期医療、成人の医療、高齢者医療、訪問診療、終末期医療、一次救急、病棟診療のマネジメント(3ヶ月間)、校医としての活動などがスムーズに行えるようになることを目標として研修する。

精神科・放射線科研修

精神科の午前外来に週2回、放射線科は午後の読影時に週1-2回行き、common diseases について研修する。

皮膚科・泌尿器科

皮膚科は午前外来で週1回研修し、週1回午後の褥瘡回診について研修する。泌尿器科は午前外来で週1回 common diseases について研修する。common diseases の手術も経験する。

眼科・耳鼻科研修

眼科および耳鼻科は、それぞれ週1回ずつ午前外来で common diseases について研修する。

選択研修

3年目の3ヶ月間は自分の弱点を強化するための研修や、興味のある科での研修に充てることができる。

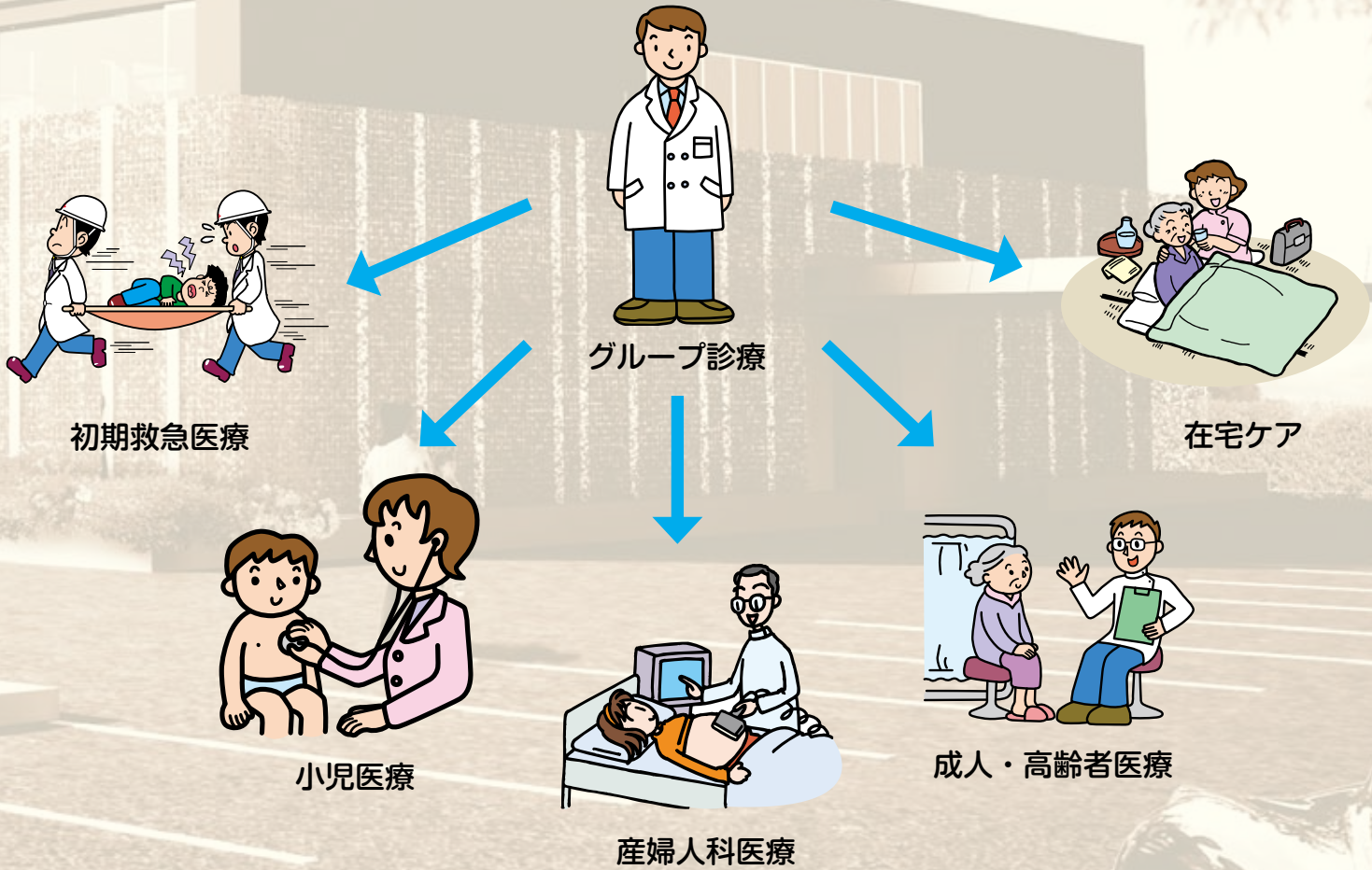


婦人科診察法の練習



新生児蘇生法の講習会

静岡プログラムにおける 家庭医療専門医の守備範囲



ミシガン大学での研修



ALSO 講習会



整形外科的診察法の練習

家庭医療専門医研修オリエンテーション 2010

4月	午前 (8:30 ~ 12:00)	午後 (13:00 ~ 17:00)
1日(木)	新規採用職員オリエンテーション	・米国及びわが国における家庭医療の現状と静岡プログラムが目指すもの、 (担当:津田、マイク、寺田、佐野、藤岡)
2日(金)	・プログラム・研修コース説明(寺田) ・臨床能力の自己評価(担当:マイク)	・菊川市立総合病院・小笠診療所オリエンテーション ・6:30 レジデント歓迎パーティー(二市一町主催)
5日(月)	・公立森町病院オリエンテーション	・訪問診療について(中村) ・外科研修について(縫合練習を含む)(中村) ・高齢者総合評価(津田)
6日(火)	・産科診療の基礎:正常分娩、妊婦ケア、妊婦健診など(藤岡、マイク)	・医療安全から(井口) ・院内感染対策とスタンダードプレコーション(安田)
7日(水)	・医療面接、診断推論と臨床判断(津田)	・静岡の研修医はミシガン大学で何を学ぶか(マイク) ・新専門研修医に期待すること(林-県から) ・リサーチの進め方(マイク)
8日(木)	・小児の診かた:定期健診、ワクチン(マイク、藤岡)	・身体診察法復習(担当:津田)
9日(金)	・思春期医療(藤岡)	・小児の診察-続き、英語学習のコツ(マイク) ・感染症治療について(神戸大:岩田健太郎)
10日(土)	・8:00-17:00 ALSO-Advanced Life Support in Obstetrics(藤岡)	
11日(日)	・8:00-17:00 ALSO-Advanced Life Support in Obstetrics(藤岡)	
12日(月)	・ポートフォリオの作り方(二見) ・外来皮膚科(藤岡)	・整形外科診察・スポーツ医学(村田) ・プレゼンテーションの仕方(藤岡)
13日(火)	・外来診療実習(藤岡、津田)	・電子カルテの使い方(担当:事務職)
14日(水)	・外来診療実習(藤岡、津田)	・カルテの書き方:POS(津田)
15日(木)	・メンタルヘルス(佐野) ・ウイメンズヘルス(佐野)	・ウイメンズヘルス-続き(佐野) ・ローテーション決定
16日(金)	・生活習慣病指導(佐野) ・common disease management(佐野)	・事務局より事務連絡 ・ローテーション病院挨拶廻り
17日(土)	・9:30-16:00 新生児蘇生法コース(NCPR-neonatal cardiopulmonary resuscitation)(白井) ・18:30 オリエンテーション打ち上げパーティー	



菊川家庭医療クリニック完成予想図

専門研修医の声

専門研修医 1年 網分信二 (山口大学出身)

私は医学部入学時から家庭医になることが目標でした。大学で初期研修を終えて本プログラムに応募しました。

まずオリエンテーション。ここでどんな家庭医を目指すのか、そのために何をどのように研修するのか、ほぼ全ての分野にわたって詳細なレクチャーやワークショップが開催され、毎日目から鱗の状況でした。実際に研修が始まってみると、全ての患者さんのプリセプティングをリアルタイムに受けることができ、鑑別疾患、診断方法、治療、予防、患者教育などなど、非常に多岐にわたって患者さんとその家族をいかに健康で幸せにしていけるかを学んでいます。週2コマのエコー研修では専属の指導者が手取り足取り教えて下さっています。

家庭医療クリニックでも、新生児の診療から101歳の方の訪問診療まで診させていただいて、私自身楽しくてしょうがない毎日です。このような極めて恵まれた研修を最大限に生かして、一日も早くこのプログラムが目指す世界標準を凌駕する家庭医になれるよう研鑽していく決意です。

募集

- ◆医学生セミナー（5,6年生・初期研修医対象）
日時：8月27日(金) 13:00～29日(日) 12:30
場所：菊川市小菊荘（静岡県菊川市大石88）
- ◆研修医ワークショップ（初期・後期研修医対象）
日時：10月2日(土) 9:00～3日(日) 15:30
場所：菊川市小菊荘（静岡県菊川市大石88）
- ◆施設見学
随時受け付けていますので、下記問い合わせ先までお気軽にご連絡ください。連絡の際は、氏名、施設（大学）名、学年、連絡先（住所、メールアドレス）、希望日時、期間をお知らせください。

募集案内

- 応募資格 専門医コース：初期研修修了予定および修了者
フェローコース：別途相談
- 募集定員 8名（予定）
- 研修開始時期 平成23年4月1日
- 応募手順 募集期間：平成22年10月31日必着、ただし募集定員に満たない場合は適宜再募集を行う
応募書類：願書（様式1）、履歴書（様式2）
- 選考方法 面接試験を行い、選考委員会の審議を経て合否を決定する
- 問合せ 小笠診療所（〒437-1507 静岡県菊川市赤土1136）
電話 0537-73-5557（担当：島田）
E-mail: sfm@tenor.ocn.ne.jp
ホームページ： www.shizuoka-fm.org（7月開設予定）

磐田市立総合病院



公立森町病院



菊川市立総合病院



静岡県

